

山梨の水道水なぜ良質？

甲府・県生涯学習推進センターは12日、山梨の水道水について学ぶ講座を開いた。山梨大大学院医学工学総合研究部付属国際流域環境研究センターの中村高志特任助教が、山に囲まれて水資源が豊富な山梨県は水道水の質も高いことを説明した。

演題は「わたしたちの水道水の起源と水質」なぜ山梨の水道水はきれいなのか。中村さんはまず、山梨の水道水源は河川やダム水といった表流水よりも地下水の方が多く、全国的には地下水よりも表流水を水源とする割合が多いことを説明。これは、山梨の自治体は給水人口が少なく、ダムなどが必要とする

「一番しぼり」飲める立地



表流水よりも小規模で済む地下水が水源として使いやすいためという。

山梨の水道水が良質であるという理由については、山梨の地下水には川や山の

きれいな水が地下水に混ざるため、肥料による汚染が比較的少ないなどと解説。

また、中村さんは「山梨の生活域は水源域の近くであり、一番しぼりといえる水が飲める恵まれた立地条件にある」と語った。

中村さんによる講座は、山梨の豊かな自然環境などについて学び、郷土愛を育んでもらう「やまなし再発見講座」の一環として実施した。

〈斉藤裕介〉

山梨県の水道水の質が高い理由について説明した講座＝甲府・県生涯学習推進センター